

自己評価結果公表について

自己評価結果公表の7つの事項についての会議

令和3年3月5日に放課後等デイサービス Raise（レイズ）において

「自己評価結果公表の7つの事項」についての会議を行いました。

その会議内容について公表いたします。

【検討事項】

- ① 利用する障がい児及びその保護者の意向、障がい児の特性、障がい特性
その他の事情を踏まえた支援を提供するための体制の設備の状況につ
いて

現在放課後等デイサービス Raise（レイズ）では登録人数31名。1日平均
約10名。

保護者の意向や障がい児の特性、障がい者特性などについては初回の面
談・アセスメント等を含め定期的に保護者と面談を行い、書類等揃え支援
に結び付けている。

- ② 従業員の勤務の体制及び、資質の向上のために取り組みの状況につ
いて

人員配置については子供たちの障がいや特性を考え学習面や運動に専従
職員を配置して、状況の把握がしやすいようにしている。

また定期的なケース会議。社内、社外研修を行っている。

③ 事業の用を共する設備及び、備品等の状況

施設内には学習支援を行う部屋と中集団療育を行うプレイルームとその趣旨に応じた小部屋を設置している。

またサーキットなどを行う遊具や療育道具等についても充実させている。

④ 関係機関及び地域との連携、交流等の取り組みの状況

年に1回程度保護者会の実施、学校訪問等を行っている。

⑤ 利用する障がい児及びその保護者に対する必要な情報提供、助言その他の援助の実施状況

定期的に事業所での面談を保護者と行っており、その際に相談援助を行っている。

⑥ 緊急時における対応方法及び非常災害対策

緊急時の対応や非常災害時についての研修実施。(防犯訓練年2回)

防災センターでの災害体験の実施。(年1回)

⑦ 業務の改善を図るための措置の実施状況

週1回の会議の中で定期的に児童の特性の周知や療育の方向性、内容などの話し合いを行っている。

業務の時間短縮のため、朝礼や引継ぎの時に役割分担を決めている。

まとめ

☆検討結果

現在、行っている取り組みを今後も継続していく必要がある。

☆自己評価

サーキット、集団活動、学習など役割分担をしているので固定の職員がつくことで児童の様子を把握しやすく、断続的な支援に繋がっている。

☆改善目標

学校との連携や家族との面談がまだ、少ないので今後増やして、連携を強化していきたい。

- ・利用人数が増えても現在の状況を維持していく
- ・緊急時の対応の再認識、感染症の予防徹底。
- ・職員一人一人スキルアップしていくための研修の充実